



テーマコラム



新しい生活スタイルその1 マイバスケット

ふちんかん

昨年7月から始まったレジ袋有料化を機に、スーパーなどでの買い物の際にマイバスケットを利用するようになった。もっと早くから利用すれば良かったと後悔するほど便利だと感じているので、そのメリットを紹介する。

レジ打ちの方の収納は芸術である

生鮮食品と乾物を分けたり、重いもの・大きなものを分散したり、すきまに小さなものを詰めたり、重みで変形しそうなものを避けておいて上乘せしたり…。レジ打ちの方のバッグへの収納はさすが本職である。マイバスケットなら芸術的とも感じるこの収納状態のまま自宅へ運搬できるのである。レジ打ちの方にとっても、これまでは客がレジ袋に詰めるまでの暫定的な収納だったものが、客宅までの持続的な収納へと変化することで、より機能的で美しい収納への意識が高まることだと思う。

会計後の「ごぼう抜き」感覚が味わえる

これまでは支払い後、レジ袋への詰め替えが必要だった。この作業自体に時間がかかる。さらに混んでいるときなどは他の客との陣取り合戦もストレスである。今になって思えばこの詰め替え作業は不毛である。

これがマイバスケット利用で一変する。会計後、出口へ一直線である。レジ袋に詰め込むことに汲々としている他の客を横目に、颯爽と出口へ向かう際に優越感すら感じる。

行方不明者ゼロ

レジ袋収納は不定形であるため、車内で袋ごと倒れたり、荷物が飛び出したり、場合によっては逃げ出した商品が座席の下へもぐりこんだりする。マイバスケットはしっかりとした底と壁があるため、商品はお行儀良く運搬されるのである。

ということで、私がメインで使っているのは、右図の「折りたたみバスケット ハンドル付」である。

普段は折りたためるので車内で邪魔にならないし、使うときは、上部のハンドルを持ったり、左右側板に開いている穴をわしづかみできる（重量級の際、便利）。

1000円ほどするが、使い勝手が良いのでお気に入りである。





新しい生活スタイルその2 炭酸メーカー

ふちんかん

家飲みのメインをビールからハイボールに移行して約3年。

2年ほどペットボトルの炭酸水を購入していたが、けっこう重いしペットボトルゴミが溜まるたまる。それを解消するために昨年3月に簡便な炭酸メーカーを購入した。

「ツイスパソーダ」という商品で、使い切りの小さな炭酸ボンベを使って炭酸を作るというものである。ボンベが小さいため頑張っても炭酸の強度が弱い。作りたてでも微炭酸、ちょっと置いとくと、これは炭酸なのか？というレベルにまで下がる。これで一年間過ごしたが、ボンベを100本使ったところで、もうちょっとマシな商品にステップアップすることにした。



で、購入したのが、この業界で一番メジャーな「ソーダストリーム」である。

これは500mlボトル120本分の大容量ガスボンベをセットして使うものである。前述の「ツイスパソーダ」と比較して、良い点をあげてみよう。

ボンベの交換が激減

「ツイスパソーダ」とちがって、ボンベが大容量のため、毎回ボンベを交換することなく、さっと炭酸をつくり出すことができる。

驚嘆の強炭酸

ボタンを押すたびに炭酸が溶けていくので、好みの濃さの炭酸が作れる。「ツイスパソーダ」では味わえなかった強炭酸が作れるのである。

小容量ボトル

標準のボトル以外に小容量のボトルもある。冷蔵庫で冷やしておくには小容量のボトルの方が収まりが良く便利である。



ということで、この3月から「ソーダストリーム」へ移行した。まだ第1回目のボンベを使い切っておらず、コスパに関しては未知である。ただ上記のメリットはいずれも捨てがたく「ツイスパソーダ」に戻ることはないであろう。